



安曇野市コミュニティスクール事業 地域学校協働活動情報

NO. 13

令和8年8月28日(金)発行

三郷公民館より

地域学校協働活動を紹介

三郷ボランティア合言葉「できるときに」「できる人が」「できることを」

地域と学校の協働活動の取り組みを紹介します。

○三郷小学校の取り組み

・あすなろ学級児童がボランティアの皆さんと「あすなろ校外学習」へ行きました。

6月19日(金)に、あすなろ学級の児童が、地域のボランティアの皆さんと一緒に「あすなろ校外学習」で国営アルプスあづみの公園大町・松川地区へ行きました。ボランティアの皆さんと竹巻パン作り体験・ロードトレイン体験・くもの巣遊具体験・外遊びを行いました。

・クラブ活動に約16人のボランティアの皆さんが、地域講師として参加してくださいました。

6月24日(水)に第1回のクラブが行われました。本年度は、17のクラブが企画されました。そのうち地域の講師の方は、ニュースポーツ・ゲートボール・トールペイント・子ども生け花(池坊)・ポテサラ@ズンバ・太極拳の6クラブを行いました。専門的な知識や技能をお持ちの地域の皆さんにご指導、ご支援いただき、子ども達は大満足でした。地域の方々との交流という意味でも充実した活動になることが期待できます。子ども達の更なる学びや地域づくりにもつながる協働活動を進めていきたいと考えています。



ボランティアの方とパンを練り、竹に巻いて焼きました。

○ズンバ講師の話:「難しく考えずに楽しく体を動かしダンスを好きになってほしい!」

○参加児童の話:「難しいところもあるが、音楽にのって、いろいろな振り付けがあって楽しい!」

○太極拳講師の話:「スピードのある競技もあるがゆっくりな運動もあることを知ってもらいたい」

○参加児童の話:「知らないことを学べ、激しく動かない運動も楽で楽しい」



太極拳の様子



ポテサラ@ズンバの様子

○三郷中学校の取り組み

・三郷中学校地域学習会が行われました。

三郷中学校では、例年行われている地域学習会が行われました。一色校長先生からの挨拶「地域を調べることを通して地域を知り地域が好きになり、先人の歩みに誇りを持ち、地域に生きる喜びを深める。→【地域に愛着を持つ】」を目標に、第1回は5月18日(月)に14地区に分かれて専門的な知識や技能をお持ちの地域講師14地区15名の方々から、子どもたちが主体的に追究する地域学習の事前学習を行いました。三郷地域の土地の成り立ちや歴史、文化、自然、人物について詳しく学びました。第2回は6月23日(火)に各地区でのフィールド学習が行われました。

・七日市場地区のフィールド学習を中心に紹介します。

三郷地域七日市場では「諏訪神社の学習」を行いました。

当日、生徒が集まる1時間前に氏子総代・祭りばやし保存会・歴史を学ぶ会の方々7名の皆さんが倉庫前に集まり打ち合わせをしました。その後、舞台を注意深く倉庫から出し、蜘蛛の巣をはらったり、拝殿の換気をしたり、水道の通水や境内の安全確認等を手際よく行い生徒を待ちました。

3グループに分かれて本殿(市有形文化財)・拝殿・舞台(市有形文化財)の前に立ち、間近に見ながら地域講師の説明を聞き学習しました。

「ほら、あそこ。太陽と月」諏訪神社の本殿を裏側から見ていた生徒の言葉が聞こえてきました。

○生徒の感想より:「地域の人々がまとめ、願いや祈りを込め神社を守ってきたことを知りました。私もこの気持ちを大切にしたいと思いました」

○職員の感想:「小さな村でこれだけりっぱな神社があり、彫り物があることに驚きました」

○地域講師:「今日見たり聞いたりしたことを材料として地域の歴史、文化を思い考え学んだことを後輩たちに伝えてほしい」

【取材を終えて】:学校と地域が共に学ぶ大切な時間であり、生徒たちにとっても、地域についての理解を深める良い機会となっていました。三郷中学校における地域学習会は平成16年度から続いており、今後も中学生の「地域と生きる三郷力」を高めるために地域の力をいただきたいと思います。

・第3回は11月17日(火)に地域学習会のまとめを行います。



地域学習会でお話をする地域講師



諏訪神社拝殿前で7名の講師の方の紹介を行い、フィールド学習を始めました。



舞台を間近に見学しました。この舞台には細かな彫り物がたくさんありました。